

大紀町 ふるさと文化遺産講座

大紀町が誇る偉人・大瀬東作と伊良子清白。
大瀬東作は、三十四歳の若さで七保村（現大紀町）の村長となり義務教育費の国庫負担制度の確立に尽力し、野原橋の架橋をはじめ多くの事業を起こし功績を残しました。
伊良子清白は医者をする傍ら詩作を続け二十九歳で生涯ただ一冊の詩集「孔雀船」を刊行し、多くの人を魅了し詩壇から消えた漂泊の詩人。太平洋戦争中、疎開した大紀町打見で医療に従事し、終戦翌年の一月この地で生涯を閉じました。
大紀町の二人の偉人の講座を大瀬東作の生家で開催します。

テーマ 大紀町が誇る二人の偉人



講師：大紀町文化財調査委員
中瀬 秀夫氏



伊良子清白詩碑

令和6年
10月13日(日)

受付/12:30

講座/13:00～15:00

会場/民泊 東作塾

三重県度会郡

大紀町野原1207

定員/30名(先着順)

講座終了後、大瀬東作資料館の見学を行います。



※参加費無料

参加
申込

問い合わせ先：西村（戸畔の会） 携帯：090-6085-6744

Eメール：bccan798@yahoo.co.jp ※参加者名、人数をご連絡下さい。

主催：錦戸畔地域活性化プロジェクト実行委員会

協力：大紀町・大紀町教育委員会・大紀町観光協会・戸畔の会・ISOMON⁶

後援：熊野古道語り部友の会・三瀬坂峠を守る会・宮川流域案内人の会

本事業は令和6年度文化庁文化芸術振興費補助金(地域文化財総合活用推進事業)の補助を受けて実施しています。